

研究課題番号	2-2004
研究課題名	水防災・農地・河川生態系・産業への複合的な気候変動影響と適応策の研究
研究実施期間	2020年度～2022年度
研究機関名	岐阜大学
研究代表者名	原田 守啓

1. 委員の指摘及び提言概要

気候変動に対する適応策の取り組みの日本各地への展開を考えたときに、この研究は地域の学、官（自治体）、当事者（企業、住民など）がどのように連携して取り組んでいくと良いかを示す典型例となり得る。ステークホルダーとの対話を含めた研究体制は模範的であり高く評価できる。各地域における適応センターの役割の重要性を認識できる良い研究内容であり、環境行政・施策への貢献度も高い。また、岐阜山間域と長良川流域における水・河川環境の将来予測を、d4PDFの物理気候モデル結果等のダウンスケールによって、詳細に炙り出した点は、今後の環境行政に役立つと考えられる。一方、他地域への展開が期待できる農業分野のステークホルダーとの協業・共同活動は、当初目的としていた成果が得られなかったが、今後も粘り強く、進めてもらいたい。

2. 採点結果

評価ランク：A